

1. 電卓について

1次試験(証券分析とポートフォリオ・マネジメント)では、計算問題が多数出題され、合格にはその迅速かつ的確な処理が要求される。この計算処理のため、証券アナリスト試験では電卓を持込むことが認められており、実際、電卓処理の巧拙が合否を左右するといつて過言ではない。

試験会場に持込み可能な電卓の基準は、日本証券アナリスト協会によれば

- (1) 通信機能、印刷機能、文章の入力機能を有しないもの。
- (2) 隣席の受験者に迷惑のかからない大きさで、騒音を発しないもの。

とされている。協会推奨関数電卓として紹介されている CASIO社製FC-200V - N(金融電卓プロフェッショナル仕様)、CASIO社製FX-991ES-N(数学自然表示関数電卓)の2機種のような金融電卓や科学系関数電卓にとどまらず、その他の一般電卓・関数電卓も利用可能となっている(もちろん、CASIO社製以外のものも可能)¹。

このように持込み可能な電卓にはほぼ制限はないこともあり、従前より「どの電卓を利用したよいか」といった疑問が多くの受験者から寄せられてきたところである。こうしたご質問に対する回答ととしてはあまり期待に沿ったものとは言えないものの、「それぞれの電卓に一長一短があり、自らがもっとも使いやすいものを選択することこそが合格への近道。ただし、アナリスト試験では標準偏差の計算が必須となるので、キーの付いた電卓であることは必須」と回答してきたが、これは協会推奨電卓が紹介されるようになった今日でも同様である。

電卓の選択に関しては以上のような状況であるので、以下では、代表的な各種の電卓を取り上げ、数値例を通じてその利用法を紹介する。

¹ 日本証券アナリスト協会ホームページ、「関数電卓販売のご案内」
http://www.saa.or.jp/curriculum/news/pdf/casio_calculator_info.pdf

2. 電卓の利用方法

以下では、代表的な電卓として、

協会推奨関数電卓（CASIO社製FX-991ES-N）

協会推奨金融電卓（CASIO社製FC-200V - N）

一般電卓（SHARP社製EL-S882-X²）

CFA指定金融電卓（Texas Instruments 社製BAII PLUS™ PROFESSIONAL）

を取り上げ、平成 19 年(秋)第 4 問 を用いて、どのように計算すればよいかを紹介する。

なお、があるため、

平成 19 年(秋)第 4 問 の解法は以下の通り（著作権上の問題を考慮して、本試験問題自体はここには掲載しないので、問題文については各自ご確認ください）。

問 1 国債Vの価格 P_V は

$$P_V = \frac{5 + 100}{1 + 0.03} = 101.941\dots \quad 101.94 \text{ (円)}$$

問 2 国債Wの最終利回り y_W は

$$111.41 = \frac{10}{1 + y_W} + \frac{10 + 100}{(1 + y_W)^2}$$

$$y_W = 0.03954\dots \quad 3.95\%$$

問 3 国債Xの価格 P_X は

$$P_X = \frac{5}{1 + 0.03} + \frac{5}{(1 + 0.04)^2} + \frac{5 + 100}{(1 + 0.04)^2 \times (1 + 0.06)} = 101.060\dots \quad 101.06 \text{ (円)}$$

問 4 国債 Y の価格は額面（100 円）に等しいから、最終利回りはクーポン・レート（5%）に等しくなる（計算の必要なし）。

問 5 国債Zの価格 P_Z は

$$P_Z = \frac{3}{1 + 0.06} + \frac{3}{(1 + 0.06)^2} + \dots + \frac{3}{(1 + 0.06)^9} + \frac{3 + 100}{(1 + 0.06)^{10}} = 77.919\dots \quad 77.92 \text{ (円)}$$

（別解）

複利現価表（付表 2）及び年金現価表（付表 4）を用いる。割引率は最終利回り 6%、年数は 10 年であるから、複利現価表（付表 2）より複利現価係数として 0.558、年金現価表（付表 4）より年金現価係数として 7.36 を得る。よって、

$$P_Z = 3 \times 7.36 + 100 \times 0.558 = 77.88 \text{ (円)}$$

となることを利用して、もっとも近い選択肢を正解として選べばよい。

² 一般電卓として、ここではSHARP社製EL-S882-Xを取り上げたが、他の機種で当然構わない。ただし、**GT**キーの付いているものを想定している。

(1) CASIO 社製 FX-991ES-N (数学自然表示関数電卓)

◆ 日本証券アナリスト協会推奨の関数電卓

(長所)

- (アナリスト協会推奨機種かどうかを問わず)関数電卓の場合、数学の表記通りの順序で演算が実行されるので、数式通りの入力で正しい解答が導ける。
- べき乗・ n 乗根の計算が容易にできる。

(短所)

- 「数学自然表示」というのが曲者で、出荷時の設定のままだと、解答は分数表示されてしまう³。
- アナリスト試験には不要な演算機能も多く、数学の嫌いな受験者の場合はアレルギーが出やすい。



(評価)

- 数学嫌いでない方は関数電卓が最適である。ただし、協会推奨のこの機種は「数学自然表示」というのが曲者でありあまりお奨めできない。「数学自然表示」という高級機能など付いてない関数電卓の方が使いやすいと思われる。

(使用例)平成19年(秋)第4問

(注意)計算を始める前に、あらかじめ、**shift** **MODE** 2 と押して、「ライン表示」にモード変更しておいてください。

問1 国債Vの価格はいくらですか。

(入力方法) 105 **÷** 1.03 **=**

³分数表示を小数表示にするには **=** キーを押す代わりに、**shift** **=** (または、**=** **S D**) と押す必要がある。なお、出荷時設定である「数学自然表示」ではなく、「ライン表示」にする(あらかじめ、**shift** **MODE** 2 と押してモード変更しておけばこの問題は解決する。

問2 国債Wの最終利回りはいくらですか。

(計算過程) 両辺に $(1 + y_w)^2$ を掛け、移項すると

$$111.41(1 + y_w)^2 - 10(1 + y_w) - 110 = 0$$

2次方程式の解の公式を利用して、

$$1 + y_w = \frac{-(-10) + \sqrt{(-10)^2 - 4 \times 111.41 \times (-110)}}{2 \times 111.41}$$

$$y_w = \frac{-(-10) + \sqrt{(-10)^2 - 4 \times 111.41 \times (-110)}}{2 \times 111.41} - 1$$

$$= \frac{10 + \sqrt{10^2 + 4 \times 111.41 \times 110}}{2 \times 111.41} - 1$$

(入力方法) 式の通りに入力して計算する(分子を計算し終えたところで [=]キーを入力する)。

$$10 \left[+ \right] \sqrt{\left[\right]} \left[\right] 10 \left[x^2 \right] \left[+ \right] 4 \left[\times \right] 111.414 \left[\times \right] 110 \left[\right] \left[= \right]$$

$$\left[\div \right] 2 \left[\div \right] 111.414 \left[- \right] 1 \left[= \right]$$

問3 国債Xの価格はいくらですか。

(入力方法) 式の通りに入力する。

$$5 \left[\div \right] 1.03 \left[+ \right] 5 \left[\div \right] 1.04 \left[x^2 \right] \left[+ \right] 105 \left[\div \right] 1.04 \left[x^2 \right] \left[\div \right] 1.06 \left[= \right]$$

問4 国債Yの最終利回りはいくらですか。

この問題は電卓不要。

問5 国債Zの価格はいくらですか。

(入力方法) 複利現価表(付表2)及び年金現価表(付表4)を用いない方法。

$$3 \left[\div \right] 1.06 \left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x^2 \right] \left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 3$$

$$\left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 4 \left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 5$$

$$\left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 6 \left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 7$$

$$\left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 8 \left[+ \right] 3 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 9$$

$$\left[+ \right] 1.06 \left[\div \right] 1.06 \left[x \right] 10 \left[= \right]$$

(入力方法) 複利現価表(付表2)及び年金現価表(付表4)を用いる場合。

$$3 \left[\times \right] 3.76 \left[+ \right] 100 \left[\times \right] 0.558 \left[= \right]$$

(2) CASIO 社製 FC-200V - N (金融電卓プロフェッショナル仕様)

◆ 日本証券アナリスト協会推奨の金融電卓



(長所)

- 金融に特化した電卓であるため、アナリスト試験に不必要な関数機能は、科学系関数電卓に比べ少なく、数学の嫌いな受験者にも使いやすいかもしれない。
- べき乗・ n 乗根の計算が容易にできる。

(短所)

- 金融系の関数機能の多くは、アナリスト試験ではかえって細か過ぎて、あまり役に立たない。

(評価)

- 「協会推奨」+「金融電卓」に付加価値を感じれば使ってもよいかもしれないが、アナリスト試験合格に的を絞った場合、あまり効率的な電卓とはいえない。

(使用例) 平成 19 年 (秋) 第 4 問

問 1 国債Vの価格はいくらですか。

(入力方法) 105 1.03

問 2 国債Wの最終利回りはいくらですか。

(入力方法) キーを利用して、IRR (内部収益率) を計算する。

(注意) 計算を始める前に、あらかじめ、
と押して、ワークシートをクリアしておいてください。

 - 111.414 10 10 100

入力キーの説明

入力キー	入力後のディスプレイ表示	備考
<input type="text" value="CASH"/>	Cash Flow $I_x=0$ Csh = D.Editor x NPV:Solve	キャッシュフロー計算の指定。 $I_x=0$ の部分が反転表示されていることを確認する。
<input type="text" value="EXE"/>	X 1 2 3	$I_x=0$ の部分が反転表示された状態で、ていることを確認する。 REPLAYキーボタンを下に押す。

- 111.41 [EXE]	X 1 - 111.4 2 <input type="text"/> 3 <input type="text"/>	現在の債券価格 111.41 を符号をマイナスにして入力。
10 [EXE]	X 1 - 111.4 2 10 3 <input type="text"/>	1年後のクーポン額 10 を入力すると、2期目のキャッシュフロー額としてディスプレイには10が表示される。
10 [+] 100 [EXE]	X 2 10 3 110 4 <input type="text"/>	2年後のキャッシュフローを、クーポン額(10) + 償還額面(100)と入力すると、3期目のキャッシュフロー額としてディスプレイには110が表示される。
[ESC]	Cash Flow $I_x=0$ Csh = D.Editor x NPV:Solve	各期のキャッシュフローの入力画面から戻る。
	$I_x=0$ Csh = D.Editor x NPV : Solve IRR : Solve	REPLAYキーボタンをIRR:Solveが反転表示されるところまで下に押す。
[Solve]	IRR=3.954413963	IRR : Solve が反転表示された状態で[Solve]キーを押すことでIRRの計算命令。計算結果は%単位で表示される。

問3 国債Xの価格はいくらですか。

(入力方法) 式の通りに入力する。

$$5 \left[\div \right] 1.03 \left[+ \right] 5 \left[\div \right] 1.04 \left[\overset{\text{SHIFT}}{4} \right] \left[+ \right] 105 \left[\div \right] 1.04 \left[\overset{\text{SHIFT}}{4} \right] \left[\div \right] 1.06 \left[\text{EXE} \right]$$

(注) 1.04^2 は「 $1.04 \left[\overset{\text{SHIFT}}{4} \right]$ 」と入力する。 $\left[\overset{\text{SHIFT}}{4} \right]$ のキーの上 x^2 とあるのは、SHIFTキーを押して $\left[\overset{\text{SHIFT}}{4} \right]$ を押せば2乗の計算をすることを意味する。

問4 国債Yの最終利回りはいくらですか。

この問題は電卓不要。

問5 国債Zの価格はいくらですか。

(入力方法) **CASH** キーを利用して、NPV を計算する。

(注意) 計算を始める前に、あらかじめ、**9** **EXE** **EXE** **AC** と押して、ワークシートをクリアしておいてください。

CASH 6 **EXE** **EXE** 0 **EXE** 3 **EXE** 3 **EXE** 3 **EXE**
 3 **EXE** 3 **EXE** 3 **EXE** 3 **EXE** 3 **EXE** 3 **EXE** 3 **+** 100 **EXE**
ESC **SOLVE**

入力キーの説明

入力キー	入力後のディスプレイ表示	備考
CASH	Cash Flow I _x =0 Csh = D.Editor x NPV:Solve	キャッシュフロー計算の指定。
6 EXE	Cash Flow I _x =6 Csh = D.Editor x NPV:Solve	I _x =0 の部分が反転表示された状態で、割引率を%表示で入力する。 EXE ボタンを押すと、Csh = D.Editor xが反転表示になる。
EXE	X 1 2 3	各期のキャッシュフローの入力画面へ移行する。1期が現在を表している。
0 EXE	X 1 0 2 3	1期目(現在)には0を入力する。
3 EXE	X 1 0 2 3 3	2期目(1年後)には、1年後のクーポン額3を入力すると、2期目のキャッシュフロー額としてディスプレイには3が表示される。
3 EXE	X 2 3 3 3 4	3期目(2年後)には、2年後のクーポン額3を入力すると、3期目のキャッシュフロー額としてディスプレイには3が表示される。
3 EXE を繰り返す。	X 9 3 10 3 11	10期目(9年後)まで、毎年のクーポン額3の入力を繰り返す。
3 + 100 EXE	X	11期目(10年後)のキャッシュ

	10 3 11 103 12	フロー（10年後のクーポン額 + 償還額）の入力。
ESC	Cash Flow $I_x=6$ Csh = D.Editor x NPV:Solve	各期のキャッシュフローの入力画面から戻る。
	Cash Flow $I_x=6$ Csh = D.Editor x NPV:Solve	REPLAY キーボタンを NPV : Solve が反転表示されるところまで下に押す。
Solve	NPV=77.91973885	NPV : Solve が反転表示された状態で Solve キーを押すことで NPV の計算命令。計算結果は%単位で表示される。

(3) SHARP 社製 EL-S882-X

- ◆ キーの付いた一般電卓の一例として取り上げた⁴。

(長所)

- キーの大きいものが選べるので、入力作業が容易。
- 従来から使用している電卓である場合も多く、その場合には、操作性に慣れていることがアドバンテージになる。

(短所)

- n 乗根 ($n = 2^m$ のケース) が計算できない。
- べき乗の計算に弱い。
- 演算順序が入力順になるので、数式の場合の加減乗除の乗除が優先という演算順序との違いを考慮して入力する必要がある。



(評価)

- 上記の短所を考慮すると、証券アナリスト試験での使用を考えた場合、関数電卓に比べ劣ると言わざるを得ないが、関数電卓へのアレルギーがある場合には次善の選択となる。

(使用例) 平成 19 年 (秋) 第 4 問

問 1 国債 V の価格はいくらですか。

(入力方法) $105 \div 1.03 =$

問 2 国債 W の最終利回りはいくらですか。

(計算過程) 両辺に $(1 + y_w)^2$ を掛け、移項すると

$$111.41(1 + y_w)^2 - 10(1 + y_w) - 110 = 0$$

2 次方程式の解の公式を利用して、

$$1 + y_w = \frac{-(-10) + \sqrt{(-10)^2 - 4 \times 111.41 \times (-110)}}{2 \times 111.41}$$

$$y_w = \frac{-(-10) + \sqrt{(-10)^2 - 4 \times 111.41 \times (-110)}}{2 \times 111.41} - 1 = \frac{10 + \sqrt{10^2 + 4 \times 111.41 \times 110}}{2 \times 111.41} - 1$$

(入力方法) まず、 の中の後半部分 $4 \times 111.41 \times 110$ を先に処理し、それに 10^2 部分は直接 100 を加えて処理する。

$$4 \times 111.414 \times 110 + 100 = \sqrt{\quad} + 10 \div 2$$

$$\div 111.414 - 1 =$$

⁴この機種は、(メーカーはそのことを宣伝してないが) キーがありながら、キーも付いている点が結構優れた点かもしれない。

問3 国債Xの価格はいくらですか。

(入力方法) キーを用いて計算する。

$$5 \div 1.03 =$$

$$5 \div 1.04 \div 1.04 =$$

$$105 \div 1.04 \div 1.04 \div 1.06 = \text{GT}$$

問4 国債Yの最終利回りはいくらですか。

この問題は電卓不要。

問5 国債Zの価格はいくらですか。

(入力方法) 複利現価表(付表2)及び年金現価表(付表4)を用いない方法。キーを用いて計算する。

$$3 \div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$\div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$\div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$\div 1.06 =$$

$$3 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$\div 1.06 =$$

$$103 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 =$$

$$\div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 \div 1.06 = \text{GT}$$

(グランドトータル)キーの使い方

加減乗除が混じった計算の場合、演算順序としては乗法()除法()が加法()減法()に優先されるが、加法・乗法・除法の混じった計算で威力を発揮する。

優先される乗除計算ごとにを入力して、それを繰り返し、最後にキーを押すことにより、それぞれの乗除計算の合計が計算される。

(入力方法) 複利現価表(付表2)及び年金現価表(付表4)を用いない方法。 $\boxed{\text{GT}}$ キーを用いずに、後ろから計算する。

103	$\boxed{\div}$	1.06	}	最初は満期時のキャッシュフロー(103)を、次からは満期以前の毎期のキャッシュフロー(クーポン額3)を1+利回り(1.06)で割って加えて計算する。
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		
$\boxed{+}$	3	$\boxed{\div}$ 1.06		

(入力方法) 複利現価表(付表2)及び年金現価表(付表4)を用いる方法。 $\boxed{\text{GT}}$ キーを用いて計算する。

$$3 \boxed{\times} 3.76 \boxed{=} 100 \boxed{\times} 0.558 \boxed{=} \boxed{\text{GT}}$$

(4) Texas Instruments 社製 BAI PLUS™ PROFESSIONAL (金融電卓)

- ◆ CFA 指定電卓 (CFA 受験の場合には、この TI 製 BAI PLUS または HP 製 12C のみ持込み可能)。



(長所)

- 貨幣の時間価値 (Time Value of Money) に関連する計算が容易。
- べき乗・ n 乗根の計算が容易にできる。

(短所)

- 関数電卓でありながら演算順序が入力順になるので、数式の場合の加減乗除の乗除が優先という演算順序との違いを考慮して入力する必要がある。
- 日本製の電卓と異なり、キーが硬く押しづらい。
- メモリー機能が使いづらい。

(評価)

- 貨幣の時間価値に関連した計算に非常に優れているので、将来の CFA 受験を意識している場合には使う価値はある。

(使用例) 平成 19 年 (秋) 第 4 問

問 1 国債 V の価格はいくらですか。

(入力方法) 105 1.03

問 2 国債 W の最終利回りはいくらですか。

(入力方法) TVM の機能を利用する。

2 111.41 10 100

入力キーの説明

入力キー	入力後のディスプレイ表示	備考
<input type="text" value="ON OFF"/>	0.00	電源オン。 ディスプレイ表示は、FORMAT 機能で小数点以下 2 桁表示に設定してある場合。
2 <input type="text" value="N"/>	N=2.00	期間の入力
111.41 <input type="text" value="+ -"/> <input type="text" value="PV"/>	PV= - 111.41	present value (ここでは、現在の債券価格) の入力。 この電卓では投資額と回収額は逆符号にする必要があるため、±を入れ替える。
10 <input type="text" value="PMT"/>	PMT=1,000.00	每期一定の payment (ここでは、毎期のクーポン額) の入力。
100 <input type="text" value="FV"/>	FV=100.00	future value (ここでは、満期時の償還額)

		の入力。
CPT I/Y	I/Y=3.95	interest rate (ここでは、最終利回り)の計算の実行命令。 ディスプレイには、計算結果が%単位で表示される(ここでは、3.95%)。

(入力方法) **IRR** (内部収益率) キーを利用する。

CF 111.41 **+|-** **ENTER** **0** 10 **ENTER** **0** 10 **+** 100
= **ENTER**
IRR **CPT**

入力キーの説明

入力キー	入力後のディスプレイ表示	備考
CF (2nd CE/C)	CF ₀ =0.00	キャッシュフロー計算の指定。 ワークシート・クリアの命令。
111.41 + - ENTER	CF ₀ = - 111.41	t=0の投資金額(現在の債券価格)の入力。符号と ENTER の押し忘れに注意。
0	C01 0.00	
10 ENTER	C01=10.00	t=1のキャッシュフロー(1年後のクーポン額)の入力。
0	F01=1.00	
0	C02 0.00	
10 + 100 = ENTER	C02=110.00	t=2のキャッシュフロー(2年後のクーポン額+償還額)の入力。
IRR	IRR=0.00	IRR(ここでは、最終利回り)の計算。
CPT	IRR=3.95	計算の実行命令。計算結果は%単位で表示される。

問3 国債Xの価格はいくらですか。

(入力方法) $\boxed{\text{STO}}$ $\boxed{\text{RCL}}$ キーによるメモリー機能を用いて計算する⁵。

5 $\boxed{\div}$ 1.03 $\boxed{=}$ $\boxed{\text{STO}}$ 1

5 $\boxed{\div}$ 1.04 $\boxed{\div}$ 1.04 $\boxed{=}$ $\boxed{\text{STO}}$ 2

105 $\boxed{\div}$ 1.04 $\boxed{\div}$ 1.04 $\boxed{\div}$ 1.06 $\boxed{=}$ $\boxed{\text{STO}}$ 3 $\boxed{=}$

$\boxed{\text{RCL}}$ 1 $\boxed{+}$ $\boxed{\text{RCL}}$ 2 $\boxed{+}$ $\boxed{\text{RCL}}$ 3 $\boxed{=}$

問4 国債Yの最終利回りはいくらですか。

この問題は電卓不要。

問5 国債Zの価格はいくらですか。

(入力方法) TVM の機能を利用する。

10 $\boxed{\text{N}}$ 6 $\boxed{\text{I/Y}}$ 3 $\boxed{\text{PMT}}$ 100 $\boxed{\text{FV}}$ $\boxed{\text{CPT}}$ $\boxed{\text{PV}}$

入力キーの説明

入力キー	入力後のディスプレイ表示	備考
$\boxed{\text{ON/OFF}}$	0.00	電源オン。
10 $\boxed{\text{N}}$	N=10.00	期間の入力。
6 $\boxed{\text{CPT}}$ $\boxed{\text{I/Y}}$	I/Y=6.00	interest rate (ここでは、最終利回り) の入力。入力は%単位で行う。ここでは、6%であるから、6と入力。
3 $\boxed{\text{PMT}}$	PMT=3.00	每期一定の payment (ここでは、毎期のクーポン額) の入力。
100 $\boxed{\text{FV}}$	FV=100.00	future value (ここでは、満期時の償還額) の入力。
$\boxed{\text{CPT}}$ $\boxed{\text{PV}}$	PV= - 77.92	present value (ここでは、現在の債券価格) の計算命令。 現在の価格は、クーポン額・償還額とは逆符号に表示される。

⁵ $\boxed{\text{STO}}$ xで、x(という場所)に格納し、 $\boxed{\text{RCL}}$ xで、x(という場所)から呼び出すことを意味する。